

2024年度

キッズ神山保育所 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月15日（月）～1月31日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月28日（水）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいきり遊ぶ おもいきり学ぶ」の理念から夏祭りなど季節の行事を通し、子どもも職員もわくわく楽しむ活動ができた。また、散歩に出かけ交通安全や自然を通しての学びの機会を持てるように活動を進めた。
子どもの発達援助	子どもの姿をミーティング等で共有し、保護者様との連携を取りながら子供一人一人に寄り添い手厚く援助することができた。次年度は改めて年齢発達を確認しながら計画援助をしていきたい。
保護者に対する支援	連絡帳もフル活用し、送迎時にはお子様の姿や成長を口頭でお伝えすることを意識して行った。保護者様の困り事に寄り添い話し合うことで信頼関係も深まったと感じる。今後、看護師の専門性を生かした支援も意識していきたい。
保育を支える組織的基盤	新年度スタートの時から支部、SVより研修や援助を得ることができた。ニチイの保育マニュアルを確認しながら一年間進めることができた。次年度はミーティング、研修等の内容を見直しをもって、計画的に実施し保育の中に生かしていきたい。

総評
職員全員がニチイの保育理念である「おもいきり遊ぶ」「おもいきり学ぶ」という理念を意識し、保育活動を計画し実施することができた。丁寧な保育をし、保護者様にもしっかりと情報共有を行ったことで信頼関係の構築もできた。次年度は、今年度の利用者様アンケートの結果を反映した行事の実施を行い、より保護者様に園の様子を知っていただきコミュニケーションを図るほか、食育計画、研修計画の見直しを行い、今の子どもたちの姿に合った保育を展開していきたいと思う。